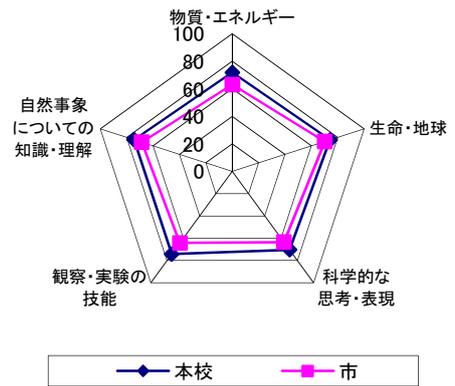


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	71.9	63.0	57.9
	生命・地球	74.2	70.2	65.2
観点別	科学的な思考・表現	70.4	63.5	57.5
	観察・実験の技能	74.3	64.3	61.5
	自然事象についての知識・理解	74.5	68.6	64.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○全体的に高い正答率を示し、市の平均正答率を8.9ポイント上回る結果となった。</p> <p>●「有機物と無機物について理解している」という問いの正答率は校内53.8であり、市平均46.3よりは高いものの、他の分野よりも正答率が低くなっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験のねらいを理解させ、グループ内で実験結果を説明し合ったり、考察したりする学び合う場面を設ける。 ・物質分野では、生徒の興味関心を喚起できるような実験をとり入れ、物質の性質を理解させる。 ・エネルギー分野では、「電気」を苦手とする生徒が多い。オームの法則やフレミングの左手の法則など、公式や法則などをくり返し演習させ、実験を通して理解を深めさせる。
生命・地球	<p>○全体的に高い正答率を示し、市の平均正答率を4.0ポイント上回る結果となった。</p> <p>●「両生類とハチュウ類に共通する特徴、共通しない特徴が分かる」という問いの正答率は校内57.7であり、市57.6とあまり変わりはない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージをつかむのが難しい内容もあるので、デジタル教科書や映像資料を活用し、理解を深めさせる。 ・生命分野は、1年で学習する植物、2年で学習する動物と体のしくみ、3年で学習する生命の連続性と内容が繋がっていくように、系統だてて指導していく。 ・地球分野は、2年で学習する「気象とその変化」に苦手意識をもつ生徒が多い。前線の構造の理解や気象データを分析する力を身につけさせる。